

# 総本山身延山久遠寺下賜東日本大震災慰霊

## 慈母観世音像遷座式が行われました。



慈母観世音像

8月20日（月）涼風吹き渡る仙台市日蓮宗本山孝勝寺にて、総本山身延山久遠寺下賜東日本大震災慰霊慈母観世音像遷座式（以下 遷座式）が挙行されました。

この慈母観世音像は、2011年3月11日に発生しました東日本大震災によって、東北地方を中心として甚大なる被害が発生し、15,895名（2018年3月6日警察庁発表）の尊い命が犠牲となったことを受けて、震災直後より犠牲になられた方々の慰霊と、復興のシンボルとなり得る仏像を建立するプロジェクトを身延山大学によって立ち上げられ、柳本伊左雄特任教授と身延山大学国際日蓮学研究所仏像制作修復室が中心となって制作致しました。

慈母観世音像の制作にあたっては、一般の方々にも犠牲者慰霊と今後の復興を祈念頂きノミ入れをして頂きました。

既に2014年にプロジェクト第1弾となる「悲母観世音像」が岩手県陸前高田市 妙恩寺に納められています。

今年プロジェクト第2弾となる「慈母観世音像」が完成したことに伴い、日蓮宗総本山身延山久遠寺を通して、宮城県仙台市 本山孝勝寺本堂に奉納・安置されることになりました。

このたびの遷座式の法要は日蓮宗総本山身延山久遠寺92世法主 内野日総猊下が大導師を親修され、厳粛の内に執り行われました。

本山孝勝寺では、遷座式の前に慈母観世音像を安置する本堂において施餓鬼会が執り行われたことから、檀信徒の方を始めとする有縁の各位が施餓鬼会に引き続き多数遷座式にご出席頂きました。

遷座式開式に先立ち、本山孝勝寺 谷川日清貫首より、慈母観世音像制作に多大な役割を果たした身延山大学 柳本伊左雄特任教授・同 吉田永正客員教授等の各位に対し感謝状の授与が行われました。



谷川貫首による感謝状授与  
(身延山大学 柳本伊左雄特任教授)



慈母観世音像入仏開眼の儀



慶讃文を奉読される法主猊下

その後、午前11時より法主猊下を大導師とする遷座式の法会が開式され、慈母観世音像入仏開眼の儀が執り行われました。

式中において法主猊下より遷座式参詣の各位に対して親しくご挨拶を賜りました。

引き続き地元の日蓮宗宮城県宗務所長 日野教恵上人の祝辞及び、谷川日清貫首より謝辞を頂戴し、式典は滞りなく納められました。

このたびの遷座式にあたり、ご尽力を賜りました、日蓮宗総本山身延山久遠寺 内野日総法主猊下及び山務員の皆様、並びに日蓮宗本山孝勝寺 谷川日清貫首及び山務員・檀信徒の皆様、日蓮宗東北教区長 阿部是秀上人、日蓮宗宮城県宗務所長 日野教恵上人を始めとする地元僧俗各位に厚く御礼申し上げますとともに、今後も本学へのご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

## 慈母観世音像 仕様

像高：2 m 8 0 c m      像幅：1 m 5 0 c m      像奥行き：1 m 3 0 c m

材料：ヒバ材を使用      寄木造り      極彩色      玉眼入り  
※彩色に際し、像全体に金箔を施した後、金箔を線としてのみ残した特殊な彩色を施している。

## 慈母観世音像 制作

制作者：身延山大学国際日蓮学研究所仏像製作修復室  
柳本伊左雄教授と制作集団（彫玄堂）